

# 切花・鉢花の8月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 8月1日現在）

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	2020年	2,021	52	
		2021年	2,008	59	
		2022年	2,110	64	
		2023年	1,634	65	
		2024年	1,590	74	
	5カ年平均		1,873	62	
	2025年見通し		1,600	65	
概要	愛知、名古屋中心に入荷。梅雨明けも早く、高温の為出荷が若干遅れ気味。盆商戦ピークの4～11日対して引き合いが強く、安定した販売が見込まれる。				
小 ぎ	実績	2020年	1,698	40	
		2021年	1,597	39	
		2022年	1,837	41	
		2023年	1,319	47	
		2024年	999	55	
	5カ年平均		1,490	43	
	2025年見通し		1,000	55	
概要	愛知、長野、埼玉、岩手からの入荷。梅雨明けからの高温で若干遅れ気味。盆需要の中、入荷量は少なめで盆後半まで入荷量は安定すると予想される。盆明けからの入荷は少ない見込み。				
カー ネ ー シ ョ ン	実績	2020年	1,193	43	
		2021年	1,027	44	
		2022年	1,197	59	
		2023年	1,053	60	
		2024年	1,250	59	
	5カ年平均		1,144	53	
	2025年見通し		1,150	60	
概要	長野、輸入品中心の入荷。国産品はやや前進傾向にあったため、次のピークが盆の需要期に合わない可能性がある。輸入品は例年の7～8割の入荷の見込み。				
か す み	実績	2020年	103	115	
		2021年	109	102	
		2022年	154	115	
		2023年	143	115	
		2024年	165	109	
	5カ年平均		135	111	
	2025年見通し		160	105	
概要	福島、長野からの入荷。上旬は新植のピークとなるため、各産地出荷は多い見込み。数量次第では厳しい販売が予想される。				

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	2020年	288	175	
		2021年	244	183	
		2022年	312	193	
		2023年	273	198	
		2024年	277	213	
	5カ年平均	279	192		
り	2025年見通し		280	190	
概要	<p>オリエンタルユリは新潟、岐阜、埼玉、北海道から入荷。全体的にやや前進気味となっているが、概ね順調な入荷が見込まれる。鉄砲ユリは兵庫、愛媛、長野から入荷。生育順調。LAユリは新潟、埼玉からの入荷。前年並の入荷予定。</p>				
洋らん	実績	2020年	317	94	
		2021年	294	110	
		2022年	331	129	
		2023年	191	167	
		2024年	314	136	
	5カ年平均	289	124		
らん	2025年見通し		250	150	
概要	<p>愛知、鹿児島、静岡などの国産に輸入品が入荷。カトレアは7月に比べ微減、コショウランは横ばいで不足感が強い見込み。シンピジウムは現地価格が高騰し、単価負けの状況。オンシジウムはハニーエンジェル中心に入荷は減少する。日照りと急激なスコール等の影響で立ち枯れが発生している。デンファレは昨年よりも入荷減、ソニア中心の入荷見込み。</p>				
ばら	実績	2020年	451	53	
		2021年	398	58	
		2022年	607	64	
		2023年	520	69	
		2024年	542	70	
	5カ年平均	504	63		
ら	2025年見通し		540	65	
概要	<p>山形、長野、愛知、岐阜を中心に入荷。後半は三重産が夏休み明けて入荷が始まる。輸入品も最終週から入荷が始まる見込み。</p>				
枝も	実績	2020年	1,384	74	
		2021年	1,399	83	
		2022年	1,717	78	
		2023年	1,347	85	
		2024年	1,416	88	
	5カ年平均	1,453	81		
の	2025年見通し		1,400	88	
概要	<p>盆用のパンパス、アスター、リンドウなどの花材は前進傾向。山採り花木は高温のため、切った先から水没するので入荷量は控えめ。盆明け以降の秋出荷物の品質が心配される。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ア ン ス リ ウ ム	実 績	2020年	12,611	905	
		2021年	10,776	912	
		2022年	11,722	989	
		2023年	8,996	945	
		2024年	9,738	939	
	5ヵ年平均		10,769	937	
	2025年見通し		9,700	900	
概要	<p>前年同様、輸入苗の高騰で仕入れが少なくなっているが、入荷量は前年並か。生産のサイズは4号～6号での出荷がメインと思われる。今年は、ピンク花の売れ行きが好調で、赤の販売状況が厳しくなっている。</p> <p>前年8月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(88.6%)、2位熊本(3.9%)、3位福岡(2.1%)となっている。</p>				
シャ コ バ サ ボ テ ン	実 績	2020年	7,387	388	
		2021年	6,975	395	
		2022年	5,298	450	
		2023年	4,538	475	
		2024年	3,270	438	
	5ヵ年平均		5,494	422	
	2025年見通し		3,300	430	
概要	<p>入荷量は前年並みか。出荷パターンも前年同様、盆明けからとなる。天候の影響があれば品質次第で出荷減もあり得る。量販店の導入計画は3.5～5号以下が中心となり、以後の取扱いも小鉢を軸に6～8号といった展開の見込み。</p> <p>前年8月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位埼玉(58.5%)、2位愛知(41.2%)、3位栃木(0.3%)となっている。</p>				
バラ 及 び ミ ニ バ ラ	実 績	2020年	6,075	119	
		2021年	2,308	139	
		2022年	2,003	172	
		2023年	4,758	135	
		2024年	2,868	147	
	5ヵ年平均		3,602	136	
	2025年見通し		2,700	141	
概要	<p>入荷量は前年よりやや減少か。6月からの高温の状態が続き、生産環境及び販売状況にも大きな影響が出てきている。時期的に棚持ちの悪さもあり、安値安定の相場となりそう。</p> <p>前年8月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位岐阜(44.4%)、2位愛知(20.7%)、3位埼玉(15.5%)となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
オンシンジュウム	実績	2020年	1,302	840	
		2021年	1,328	692	
		2022年	1,493	497	
		2023年	829	817	
		2024年	310	692	
	5カ年平均		1,154	712	
	2025年見通し		300	667	
概要	<p>入荷量は前年よりやや減少か。6号寄せ鉢が中心となりそうで比較的安定した値動きの見込み。 前年8月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(94.5%)、2位高知(5.5%)となっている。</p>				
スパティファイラム	実績	2020年	2,872	274	
		2021年	2,277	503	
		2022年	1,701	438	
		2023年	2,560	326	
		2024年	1,219	349	
	5カ年平均		2,126	370	
	2025年見通し		700	350	
概要	<p>入荷量は4号規格を中心に大幅に減少か。生産環境の変化やコスト高などにより減少の見込み。9月はさらに少なめとなる予想。 前年8月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位三重(42.1%)、2位愛知(30.0%)、3位岐阜(26.0%)となっている。</p>				
ドラセナ	実績	2020年	19,824	832	
		2021年	16,396	1,165	
		2022年	14,780	1,022	
		2023年	8,334	1,163	
		2024年	6,918	1,397	
	5カ年平均		13,250	1,057	
	2025年見通し		6,000	1,000	
概要	<p>入荷量は前年よりもかなり減少か。特にコンシンネの生産が極わずかで、輸入原木の出荷がメインの見込み。最近では、種苗会社がコンシンネの苗を生産者に販売している為、4号～6号迄のサイズでの出荷が増える見込み。8号以上の商品は、生産に時間もかかり、輸入原木の高騰で生産量は減少と思われる。 前年8月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(52.7%)、2位三重(14.0%)、3位鹿児島(11.1%)となっている。</p>				